

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0201	政策名	環境の保全	施策主管課	生活環境課	課長名	松原 弘明			
政策の目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り暮らししています									
施策No	01	施策名	地球温暖化の防止	関係課名						
施策の目指す姿	温室効果ガスの排出に配慮した生活をしています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を防止するためには、温室効果ガスの削減が必要です。 自然環境や景観などに影響を与えかねない太陽光発電用パネルの設置が見受けられます。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を防止するためには、温室効果ガス削減に向けた市民一人ひとりの取組が大切であることから、継続的に啓発していく必要があります。 温室効果ガスの排出削減を図るためには再生可能エネルギーの導入は必要です。 再生可能エネルギーの設備設置については、周辺環境との調和などに配慮する必要があります。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 家庭でできる節電や省エネルギー対策に関する意識啓発について、内容の充実を図るよう努める。 公共施設への太陽光発電設備・蓄電池の導入について検討するほか、再生可能エネルギー設備の設置が適正に行われるよう、設置に関する手続等を規定する条例の制定について検討する。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 広報はなまきやコミュニティFMを通じ、家庭や職場でできる身近な地球温暖化対策として、具体的な節電対策や省エネ対策について周知し、市民や事業者の意識啓発を図った。 再生可能エネルギーの適正導入を目的とした条例の制定については、地球温暖化対策の推進に関する法律が一部改正されるなど、再生可能エネルギーを取り巻く状況に変化があったことから、国や県の動向を注視しながら継続して検討している。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 地球温暖化対策の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や事業活動における温室効果ガス排出削減に対する効果的・継続的な意識啓発 節電や資源リサイクル等について広報紙やホームページ、コミュニティFMを通じた情報発信、廃棄物減量や自然環境保全をテーマとした環境学習講座の開催、ごみの分別等をテーマとした小学校への出前授業等により啓発を行った。 <p>(2) 省エネルギー型の暮らしへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> 市設置防犯灯のLED化の推進 市で管理し市が電気料を支払っている防犯灯については、一斉にLED化を行った 公共施設等におけるLED照明など高効率機器の導入推進 環境管理推進員を通じ「花巻市エネルギー管理標準」について周知し、設備の更新時にあわせて導入を促した 再生可能エネルギーの利活用の促進と省エネルギーを一層推進するライフスタイルの普及 ホームページにおいて再生可能エネルギー及び省エネルギーに関する情報を発信した 公共施設への再生可能エネルギーの導入の検討 公共施設における第三者所有(PPA)モデルについて調査した 民間による小水力発電など再生可能エネルギー導入への支援 周辺環境との調和のとれた再生可能エネルギーの設置に関する条例の検討 地球温暖化対策の推進に関する法律が一部改正されるなど、再生可能エネルギーを取り巻く状況に変化があったことから、国や県の動向を注視しながら継続して検討した。 断熱性能に優れた住宅建築の普及促進に向けた検討 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
環境にやさしい取組を行っている市民の割合	市民自ら環境にやさしい生活をしているかどうかを示す指標。日常生活で実践可能な7項目について質問。冷暖房の適切な温度設定、テレビ・照明等のこまめなスイッチオフ、食事を残さず食べるなど生ごみを減らす、適切な火力調節を行うなど省エネを心がけた調理、環境に配慮した商品の利用、洗顔、食器洗い時等に水を流したままにしない、外出時の自転車・公共交通利用や自動車運転時のエコドライブ	出典：市民アンケート 問：あなたは日々の暮らしの中で次のような環境にやさしい取組を行っていますか？ 左記各設問について選択者を集計。更に、各7(8)項目の平均値を算出し、その数値をもって環境負荷の少ない生活者の割合を測る。	%	目標値	59.00	61.00	63.00	65.00	67.50	70.00
				実績値	58.30	60.70	54.70	54.60		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「環境にやさしい取り組みを行っている市民の割合」・・・【達成度c】 地球温暖化の防止に係る情報発信や環境学習講座を継続的に実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、環境に係る様々な行事やイベント等への参加機会が減少したこと、感染症防止対策として外出自粛やテレワーク等により在宅時間が増加し、エネルギー消費等が増加したことが一因と考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(温暖化対策意識啓発事業)市民の地球温暖化防止に係る意識の高揚をさらに図るため、市ホームページ等の掲載内容の充実や工夫、様々な機会を捉えた周知に努める必要がある。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止には、省エネルギー型の暮らしの実現など、市民や事業者の意識向上及び個々の取り組みが必要である。 ・温室効果ガスの排出削減を図るためには、地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入が有効だが、一方で、市民の安全で安心な生活環境が守られるよう防災はもとより、自然環境や景観を保護する観点に立った配慮が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが行動に移す動機づけとなるよう、家庭でできる身近な取り組みのほか、地球と私たちとの「つながり」や「かかわり」がわかる情報を発信するなど意識啓発に努める。 ・公共施設への太陽光発電設備の導入について引き続き検討を進めるほか、再生可能エネルギーの適正導入について国や県の動向を注視しながら、防災、景観資源、自然環境、地域住民の生活環境を守るなど環境保全との調和を図るための環境条例制定について検討する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
事業内容(活動実績)			直結度		
010	維持保全経費	相談センタ	間接・少数	直結	-
	市で管理し市が電気料を支払っている防犯灯について、一斉にLED照明に交換(3,595基)				
			B		
020	温暖化対策意識啓発事業(ゼロ予算)	生活環境課	一致	直結	-
	夏季や冬季における節電、家庭でできる地球温暖化防止対策について、広報紙やホームページ等により意識啓発を実施(広報紙掲載2回、コミュニティFM放送4回、ホームページ随時掲載)				
			A		
030	環境学習推進事業費(再掲)	生活環境課	間接・少数	直結	C
	廃棄物減量や自然環境保全について学ぶ環境学習講座を実施(廃棄物減量1回 受講者14人、温暖化対策1回 受講者8人、自然環境1回 受講者16人)				
			B		